

東京町田・中

ロータリー クラブ

募って
います



1980年創立

こんな
ことも
やりました



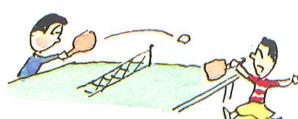
町田市ジュニア軟式テニス大会（1984）



公園にヒマラヤザクラ植樹（2002）



ひなた村創作童話発表会（1997）



まちだ青少年卓球フェスティバル（2003）

 東京町田・中ロータリー・クラブ

〒194-0021
東京都町田市中町2-4-19 朝日生命ビル3階
TEL.042-726-9731 FAX.042-728-9835



日本聾話学校草刈奉仕大作戦（1994）



ごあんない

ロータリー・クラブには、会社のオーナが多いようです。

「オーナーはつらいよ」。そして孤独です。黒字か赤字かと、一人で思い悩んでいるものです。

ロータリー・クラブの祖、ポールハリスというアメリカ人は、若いころ赤貧を洗うようなどん底生活をしていました。この体験がもとになって、どうすれば自分も助かり人も助かるかを、みんなで考えようというのがロータリー・クラブ始まりです。

自分の会社がどうなるかを話したところで、どこからもお金が出てくるわけでなし、苦しいことにはかわりありません。が、「パッとしないよなア」と、話し合っているうちに、心の霧がすっと晴れてくる。そういうことがありますね。

ロータリー・クラブには、「社会奉仕」という言葉があります。しかしそれをするには、まず自分の会社が潤っていなければなりません。わが社は、注文をさばき切れなくてこまっていますハハハ、ということになって初めて奉仕の目が社会に向けられるのです。そうなるには、やはり同じ苦労をしている仲間同士が、情報の交換や仕事の発展につながっていくような会話が一番です。

昔はやった歌の文句に「教えられたり教えたり、助けられたり助けたり」というのがありました。実はロータリー・クラブには、そういう雰囲気があります。そんな仲間が週に一度、昼食をとりながらワイワイガヤガヤとやります。夜に集まることもあり、毎回出席できない時は、それなりの方便もあります。

会費は、半年間で十四万五千円。一年間で二十五万円となります。高いなあ、と言いたくなりますが、高くても辞めたくないと思うようになってくるかもわかりません。

また、ゴルフの好きな人にはゴルフ同好会。そのほか俳句や囲碁、ダンスやワインの会など、お好みメニューがいっぱいあります。

如何でしょうか。こういう町田・中ロータリーに一度お入りになってみませんか。お気に召さなければ、いつお辞めになってもいいのです。

このパンフレットをお読みになつても、よく分からぬといふ方は、これをお持ちした会員に、納得のいくまでお聞きになってください。

よろしくお願ひ致します。



東京町田・中ロータリー・クラブ

